教科目名　現代英語　I　(Modern English I)

専攻名・学年　：　全専攻　２年　（教育プログラム　第４学年　◎科目）
単位数など　：　必修　２単位　（前期１コマ，学習保証時間 22.5 時間）
担当教員　：　大木正明

授業の概要

コミュニケーションの道具としての「英語の基本」のひとつに「発音」がある．国際性豊かな人格を養うにも，相手の言っていることが理解出来，同時に正確な発音を通じて相手に理解してもらわなければ，互いのコミュニケーションは成り立たない．そこで本講義では，ひとつの物語を通して英語の文章構造，文法，そして英語独特の言い回しを理解し，同時に英語（特にアメリカ英語）独特の発音を通じて円滑なコミュニケーション能力の涵養を図る．

達成目標と評価方法　　**大分高専目標(C2)，JABEE 目標(f)**

(1) 国際人として通用するためには実践的な英語表現は必要不可欠である．文化的かつ物語的なテキストを完読することに加え，現代英語表現における日常表現を理解することによって，日常会話に必要不可欠な表現などをコミュニケーションという観点から理解し身に付ける．（定期試験）
(2) 英語独特の発音およびその記号を理解することによって，高度な英語コミュニケーションスキルを養い身につける．（定期試験）

回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	オリエンテーション・音の弱化（1）	英語独特の強弱リズムの基本について	【理解の度合い】
2	音の弱化（2）・音の消失	子音やあいまい母音の消失について	
3	t の音変化・弾音・声門閉鎖音	アメリカ英語独特の音変化について	
4	破裂・連鎖する音	破裂音および破裂しなくなる音について	
5	つながる音(1)	子音＋母音でつながる音について	
6	つながる音(2)	子音＋母音で意外な音になる事について	
7	音の連結	t や d と母音がつながる音について	
8	短縮音	英語の「短縮」による音について	
9	脱落音	短縮による脱落する音について	
10	同化音	語尾と語頭が影響する音について	
11	内容語・機能語	内容語と機能語の音について	
12	イントネーション	英語のリズムと抑揚について	
13	英語独特の音についての復習(1)		
14	英語独特の音についての復習(2)		
15	前期期末試験		【試験の点数】　　点
	前期期末試験の解答と解説		

履修上の注意	毎回のハンド・アウトをしっかりと把握し，積極的に講義に取り組む．	【総合達成度】
教科書	特になし．	
参考図書	大木正明著，『元気の出るニューヨーク映画講義』，海鳥社、2006 年．	
事前準備学習	毎回のハンド・アウトがベースとなる．それ故，復習をメインとし，１回１回を集中して受講する．	
関連科目	英語，現代英語 II	
総合評価	定期試験(100%)により評価する．評価が 60 点以上を合格とする．	【総合評価】　　点